

2019.6.27

Q&A
(入試編)

Q. 今年から入試の回数や、科目に変更があるようですが、前期Ⅰ・前期Ⅱ（適性検査型）・後期Ⅰ・後期Ⅱといった従来の入試に難易度等の影響があるのでしょうか？

A. 全体の定員は約 210 名の枠内で合否を判定しますが、前期Ⅰは基本的に昨年度の合否ラインを踏襲し、急に難易度が変わることの無いように留意しています。安心して受験してください。また、前期Ⅱ（適性検査型）、後期Ⅰ、後期Ⅱについてもできるだけ大きな変動がないようにしたいと考えています。

Q. 「プレゼンテーション入試」とはどのようなものですか。

A. 算数・国語といった既存の科目の試験で合否を決めるものでなく、一人 60 秒程度のプレゼンテーション（口頭発表）で判定します。詳しくは別紙のチラシでご確認ください。

Q. 三宮で外部会場入試があると聞いたのですが、すべての日程で、三宮での受験が可能ですか？

A. 一昨年から一部入試を三宮外部会場で実施しています。2020年中学入試日程において、三宮会場で受験が可能なのは、1月18日（土）実施のうち午前実施の①「帰国子女特別入試」②「プレゼンテーション入試」、③「英語入試」、午後実施の④「前期Ⅱ（適性検査型）入試」のみになります。①②③については三宮外部会場でのみ実施します。④については、本校会場、三宮会場両方で実施します。開始時間が異なるのでご留意のうえ、申込時に本校会場か三宮会場かを選択してください。申込後は原則変更が出来ませんので、慎重に選んでください。なお、三宮外部会場は、三宮研修センターを予定しています。

Q. 英語での入試が変更になったと聞きましたが、どのように変わったのですか？

A. 2020年中学入試は1月18日（土）午前に三宮研修センターで「英語入試」を実施します。英語のみの1教科受験になりました。入試問題難易度を再考しています。英検4級程度の難易度を想定しています。入試本番と問題の傾向、難易度を同じにした「参考問題」を10月中旬、Web、各種説明会、相談会で配布しますので実際に手に取ってご確認ください。

Q. 帰国子女特別入試の受験資格について教えてください。

A. 保護者ととも1年（程度）以上の居住歴があり、出願時点で帰国後2年以内の方が対象となります。より詳しい受験資格、入試日程、試験内容等別途お問い合わせください。転入学につきましてもご相談ください。

Q. 後期Ⅰは国語か算数どちらか得意科目があれば有利な配点になると聞きましたが？

A. 総合進学コースについては、採点結果で得点の高かった方の教科×1.5（150点満点）、得点の低かった方の教科×0.5（50点満点）で、200点満点で判定します。苦手教科があっても、得意科目で得点できれば、合格点に達することができます！

（例）合格基準点120点（仮）で 受験生の得点が100点満点で国語70点 算数30点だった場合、
国語70点×1.5+算数30点×0.5=合否判定得点120点（合格！）

ただしSコースの合否判定は、従来通り国語・算数の2教科各100点合計200点満点で判定します。

Q. チャレンジ入試が設定されていますが、どのようなものですか？

A. 本校や、他校を受験したが、十分に実力が発揮出来ず、思ったところに合格できなかった受験生に、チャレンジしてもらうために設定しました。難易度は高く設定されます。ただし、それまでの入試での入学手続状況により実施しない場合がありますので、当初の受験予定には組み込まない様にしてください。実施するかどうかは1月21日（火）20時にWeb上で発表します。

Q. 親和中学校にすでに合格している受験生でも、チャレンジ入試で別コースの受験が可能ですか？

A. 可能です。たとえば[総合進学コース]に合格された方で、[Sコース]を希望される方は、チャレンジ入試に出

願できます。その場合、検定料20,000円は必要ですが、すでに入学金を納めていただいている場合、合格後に再度入学金納入は不要です。

Q. 急病対応等入試はどのような場合受験可能なのですか？

A. 前期Ⅰ入試に出願された方が対象になります。インフルエンザ感染など急な事情により受験できなくなった場合、体調回復後に受験していただくための入試です。

受験を欠席された場合が対象で、受験途中に退席された場合は対象になりません。

受験希望者は出願されている試験の開始までに、学校に連絡して承認を得ていただきます。

試験の開始後に連絡いただいた場合及び連絡が無い場合は受験できません。必ず事前に連絡してください。また、「急病対応入試」当日、診断書等受験が出来なかったことを証明するものを提出していただくこととなります。

受験番号は本来受ける予定だった受験番号を使用し、あらたに出願手続をする必要はありません。

Q. 急病対応等入試の合否判定はどのようなのですか？

A. 当初受験予定だった入試区分の判定基準に準じて合否判定をさせていただきます。

4教科又は3教科による受験だった方も、国語・算数の2教科で合否判定させていただきます。ご了承ください。

Q. すべての入試で調査書または通知票の写しは不要ですか？

A. 「プレゼンテーション入試」「英語入試」及び「帰国子女特別入試」は通知票の写しが必要ですが、それ以外の入試では一切不要です。

Q. Web上での合否確認はどのような形になるのですか？

A. 個々に、受験番号等を入力していただいで確認していただきます。全体の合格者一覧は表示されません。あくまで個人のみでの合否確認になります。校内での合格掲示は行いません。

Q. 奨学生制度とはどのようなもので、採用の可否はどのように確認できるのでしょうか？

A. A奨学生とB奨学生とがあり、前期Ⅰ入試及び前期Ⅱ（適性検査型）入試の二つが対象になります。A奨学生は授業料の全額を、B奨学生は授業料の半額をそれぞれ6年間奨学金として支給する制度です。採用者はA奨学生が前期Ⅰ・Ⅱともに1名、B奨学生が前期Ⅰ5名程度、前期Ⅱ10名程度です。採用者が入学辞退されても繰り上げはありません。毎年継続審査があります。

採用者は、Web上の合否確認時にA奨学生採用もしくは、B奨学生採用と明記されていて、それで確認できます。

Q. 合否通知書はどうしたら受け取ることができるのですか？

A. 合否通知書は、直接指定時間内に本校まで受け取りにきてください。

郵送はしません。Web上で合否確認をされた方も必ず受け取りに来ていただくこととなります。

Q. Webで入学手続（入学金納入）が可能になったと聞きましたが、どのように納入すればよいのでしょうか？

A. Web上で指示に従って手続をしてください。クレジット払い、コンビニ支払いのいずれも可能です。

支払い上限額の関係で、2分割で納入していただくこととなります。ご了承ください。

なお、従来どおり、金融機関からの直接支払いも可能です。合格通知書をお渡しするときに合わせて振込依頼書をお渡ししますので、それを使って振り込んでください。クレジット払い、コンビニ支払いは24時間の支払いが可能ですが、金融機関窓口は営業時間内のみの取扱となります。ご注意ください。

Q. Web出願時の問合せはどこにすればよいのでしょうか？

A. 24時間対応の問合せ窓口を設置しました。ほとんどの問合せに対応が可能です。それに対応できなくなった場合のみ、学校窓口で対応させていただきます。学校窓口は対応可能日、可能時間が限られますのでご注意ください。

Q. 複数出願すると検定料が減額になると聞きましたが、どのような場合になるのですか？

A. 前期Ⅰに出願された方は、その他の入試（チャレンジ入試を除く）1回分の受験料（2万円）が無料になります。また、プレゼンテーション入試、英語入試及び帰国子女特別入試は、前期Ⅰと重複して受験できないので対象外となります。）

例

- （1）前期Ⅰと前期Ⅱ（適性検査型）に出願 2万円の減額により2万円の受験料
- （2）前期Ⅰと後期Ⅰに出願 2万円の減額により2万円の受験料
- （3）前期Ⅰと後期Ⅱ（適性検査型）に出願 2万円の減額により2万円の受験料
- （4）前期Ⅰと前期Ⅱ（適性検査型）と後期Ⅰに出願 2万円の減額により4万円の受験料

ただし、前期Ⅰ入試に出願されない場合は、減額されません。

例

後期Ⅰと後期Ⅱに出願 2万円+2万円=4万円の受験料（減額無し）

Q. 2020年4月から高校に「国際コース」が新設されると聞きましたが、中学からの募集はないのでしょうか？

A. 「国際コース」の中学入試での募集はありません。ただし、高校への内部進学時に「国際コース」を希望することができます。